

# 一般質問

岡野孝則  
(民主クラブ)

火葬場・墓地の保全対策は



狭い墓地線と光正橋

問 火葬場は平成19年度261件、多くの方が使用されています。今後、高齢者、体の不自由な方が使用するトイレ設置は。

答 高齢者、身障者、車椅子にて利用される身障者用トイレの必要性は十分認識している。平成21年度、身障者用トイレを別な所に増設し、改修する。

問 市道墓地線、光正橋は幅員が狭く通行が非常に危険。拡幅改修計画とお盆時の安全対策は。

答 市道墓地線の拡幅整備計画

児童・生徒の学力向上は  
状況調査結果は。

答 基本である読み書きは概ね定着。問題の活用応用に課題。人の役に立つ人間になりたい等は全国平均を大きく上回り、朝食を必ず取る、適度な睡眠、規則正しい生活の子は学力が向上。

問 学習改善に向け家庭とどのような連携を取つて来たのか。

答 家庭学習の手引書配布。今後も学校と家庭の一体化に努力。

問 21年度以後の取り組みは。  
答 改定に向け今後手引書配布。学力の基礎・基本的知識取得。学習改善計画を策定する。

家庭教育の重要性は

問 家庭教育の体制整備は、事業推進に向け他機関との連携は。

答 家庭の教育力低下があり、市独自の小冊子配布。学校・地域・関係機関と連携を図り推進。

は現在考えていない。光正橋は墓地2期工事と合わせ総合的に検討。お盆時は、下り線に案内誘導看板を設置。橋手前で零号線に誘導し安全対策に努める。

佐々木 優  
(日本共産党)

農業の実態、その認識は

問 世界でも異常に低い自給率、農家戸数の激減、超高齢化、深刻な後継者難と農地の荒廃。

原因は、食料輸入自由化路線

のもとで国内生産を縮小し、アメリカ・財界の言いなりに、国民の食料を際限なく海外に依存してきた事にある。一方、国内の農産物価格保障や経営安定政策を放棄した政府の農業政策。中小農家を切り捨て、農業の担い手を土台から突き崩した。まさに、亡国の農業政策である。

市の農家戸数は、この8年で

270戸26%もが離農した。

答 農業を取り巻く環境は厳しいが、情報を主体的に収集し、人材育成や観光・商工業などとの連携、チャンスを逃さず新たな成長を可能にする農業構造への転換を図ることが必要。

農家への支援対策は

問 日本の農業と食料は、新

な危機に直面している。気候変動による生産の不安定化、途上国の需要急増、バイオ燃料・投機による穀物の異常高騰。



厳しい経営が続く

農産物の価格低迷に加え、燃料・肥料・飼料・生産資材などは極めて厳しい状況にある。さらに、過重労働、後継者不足、依然として今後も厳しい農家の実態が想定される。

燃料・肥料購入費の軽減のため、独自に対策をする自治体もある。市として農家支援が必要。答 投入資材の抑制、機械の効率利用、土壤診断による施肥設計、有機物活用などの啓発活動を中心コスト削減を図る。独自対策は取り組まない。